

大学共同利用機関法人自然科学研究機構

令和3事業年度財務諸表の概要

自然科学研究機構は、平成16年度に法人化し、大学共同利用機関法人として国内外の研究者に対し共同利用・共同研究の場を提供するとともに、自然科学の最先端の研究や関連分野の研究を発展させるための活動を行っています。

本機構における令和3事業年度財務諸表の概要は以下のとおりです。

<貸借対照表>

本機構の財政状態を明らかにするため、基準日（令和4年3月31日）におけるすべての資産、負債及び純資産を記載しています。

(単位:百万円、%)

区分	令和2年度	令和3年度	対前年度 増△減額	増減率	区分	令和2年度	令和3年度	対前年度 増△減額	増減率
	A	B	B-A	(B-A)/A		A	B	B-A	(B-A)/A
資産の部					負債の部				
有形固定資産	91,132	90,122	△ 1,009	△ 1.1	資産見返負債	32,542	34,932	2,390	7.3
土地	28,780	28,752	△ 27	0.0	引当金	-	-	-	-
建物	28,959	28,249	△ 710	△ 2.4	資産除去債務	554	563	9	1.6
構築物	657	584	△ 72	△ 11.0	長期未払金	3,668	2,116	△ 1,551	△ 42.3
工具器具備品	18,272	17,289	△ 983	△ 5.3	固定負債合計	36,765	37,613	847	2.3
建設仮勘定	11,677	12,447	770	6.5	運営費交付金債務	3,615	0	△ 3,615	△ 100.0
その他	2,785	2,799	13	0.4	寄附金債務	1,362	1,399	36	2.6
無形固定資産	5,019	4,885	△ 134	△ 2.6	前受金等	365	526	161	44.1
投資その他の資産	114	91	△ 23	△ 20.4	預り科学研究費補助金	752	770	17	2.3
固定資産合計	96,266	95,098	△ 1,167	△ 1.2	未払金	6,700	8,041	1,341	20.0
現金及び預金	10,778	10,127	△ 651	△ 6.0	その他	78	251	172	219.0
未収入金	84	115	31	36.8	流動負債合計	12,875	10,990	△ 1,885	△ 14.6
たな卸資産	354	362	8	2.3	負債合計	49,640	48,603	△ 1,037	△ 2.0
前払費用	204	933	728	357.1	純資産の部				
その他	76	0	△ 75	△ 99.4	資本金(政府出資金)	75,035	75,021	△ 13	0.0
流動資産合計	11,497	11,538	41	0.3	資本剰余金	△ 17,313	△ 18,966	△ 1,653	9.5
資産合計	107,764	106,637	△ 1,126	△ 1.0	利益剰余金	401	1,979	1,578	393.3
					重点研究推進積立金	16	0	△ 16	△ 100.0
					積立金	40	121	81	202.4
					当期未処分利益	87	1,600	1,513	1,737.3
					純資産合計	58,123	58,034	△ 88	△ 0.1
					負債純資産合計	107,764	106,637	△ 1,126	△ 1.0

(※端数整理のため合計は一致しません)

◆ 資産

資産総額は1,066億円で、前年度に比べ11.3億円減少(1.0%減)しました。これは工具器具備品が減価償却等により9.8億円減少したことなどによるものです。

◆ 負債

負債総額は486億円で、前年度に比べ10.4億円減少(2.0%減)しました。これは資産の老朽化により資産見返負債が23.9億円増加した一方で、中期目標の期間の最後の事業年度の期末処理において運営費交付金債務残高を全額収益に振り替えたことなどで運営費交付金債務が36.2億円減少したことなどによるものです。

◆ 純資産

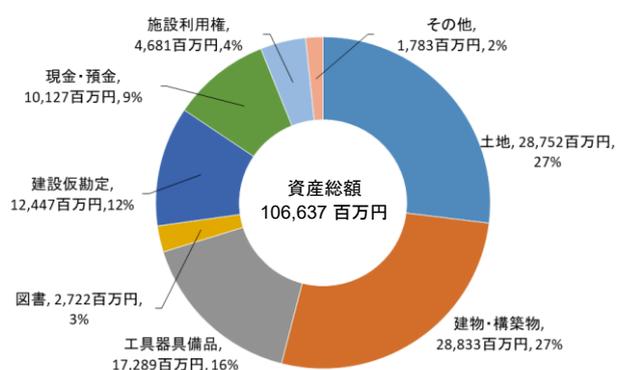
純資産総額は580億円で、前年度に比べ0.9億円減少(0.1%減)しました。

これは当期未処分利益が15.1億円増加した一方で、資本剰余金が損益外減価償却等により16.5億円減少したことなどによるものです。

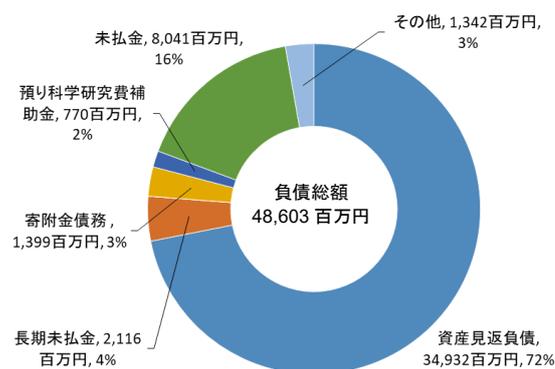
(「純資産」は国立大学法人会計基準等の改正により、平成19年度から従来の「資本」から名称変更したものです。)

◆ 資産・負債の構成内訳

【資産の部】



【負債の部】



<損益計算書>

本機構の運営状況を明らかにするため、一会計期間(令和3年4月1日~令和4年3月31日)におけるすべての費用と収益を記載しています。

(単位: 百万円、%)									
区分	令和2年度	令和3年度	対前年度増△減額	増減率	区分	令和2年度	令和3年度	対前年度増△減額	増減率
	A	B	B-A	(B-A)/A		A	B	B-A	(B-A)/A
経常費用 a	31,325	32,738	1,412	4.5	経常収益 c	31,427	33,769	2,341	7.5
業務費	29,778	31,008	1,230	4.1	運営費交付金収益	23,326	24,943	1,616	6.9
教育経費	0	1	1	205.8	大学院教育収益	234	236	2	1.0
大学院教育経費	134	147	12	9.1	受託研究等収益	1,479	2,043	564	38.2
研究経費	3,046	2,909	△ 137	△ 4.5	寄附金収益	276	248	△ 28	△ 10.1
共同利用・共同研究経費	11,802	12,320	518	4.4	施設費収益	222	309	86	38.9
教育研究支援経費	2,485	2,668	182	7.3	補助金等収益	1,671	1,849	177	10.6
受託研究費等	1,458	2,042	583	40.0	資産見返負債戻入	3,448	3,256	△ 191	△ 5.6
人件費	10,849	10,918	68	0.6	財務収益	3	0	△ 2	△ 95.7
一般管理費	1,511	1,674	163	10.8	雑益	764	881	116	15.3
財務費用・雑損	36	55	19	53.6	経常利益 d=e-a	101	1,031	929	-
臨時損失 b	86	84	△ 1	△ 2.2	臨時利益 e	71	645	573	798.5
					当期純利益 f=e-b+d	87	1,591	1,504	-
					目的積立金取崩額 g	0	8	8	-
					当期総損失/利益 f+g	87	1,600	1,513	-

(※端数整理のため合計は一致しません)

◆ 経常費用

経常費用の総額は327億円で、前年度に比べ14.1億円増加(4.5%増)しました。これは受託研究費等の受入額の増加に伴い受託研究費等が5.8億円増加したことや、単価の上昇に伴い光熱費が増加したことなどにより共同利用・共同研究経費が5.2億円増加したことなどによるものです。

◆ 臨時損失

臨時損失の総額は0.8億円で、主に固定資産の除却損（残存価額相当分）を計上しています。

◆ 経常収益

経常収益の総額は338億円で、前年度に比べ23.4億円増加（7.5%増）しました。これは令和2年度以前からの過年度繰越額を執行（収益化）したことなどにより運営費交付金収益が16.2億円増加したことや、受託研究費等の受入額の増加に伴い受託研究等収益が5.6億円増加したことなどによるものです。

◆ 臨時利益

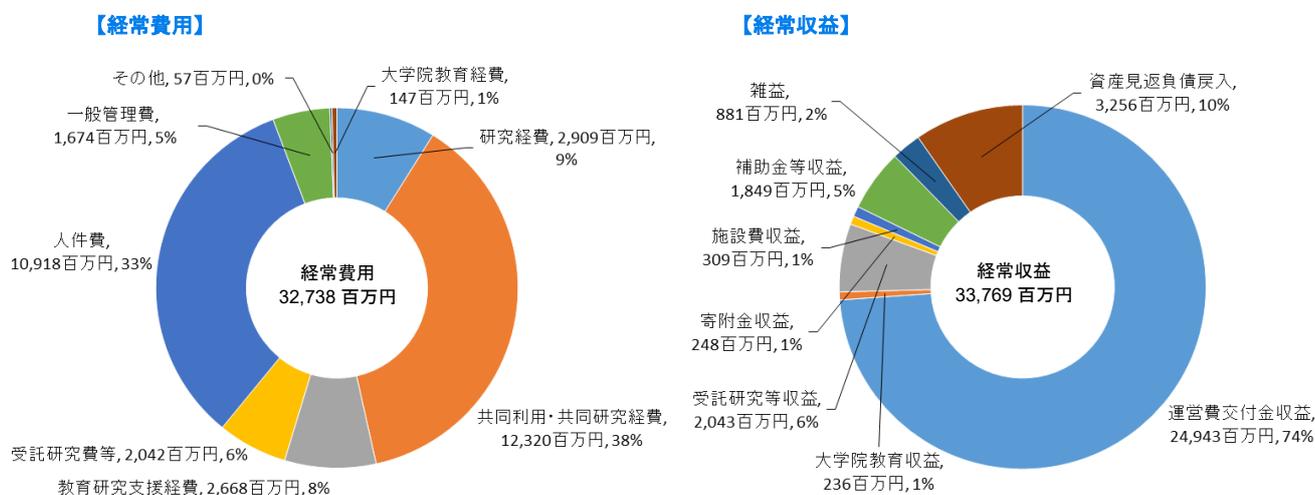
臨時利益の総額は6.5億円で、中期目標の期間の最後の事業年度の期末処理において運営費交付金債務残高5.7億円を全額収益に振り替えたものの他、固定資産の除却に伴う資産見返負債戻入等を計上しています。

◆ 当期総利益

収益から費用を差し引いた16.0億円が当期総利益となります。

利益を計上するに至った主な要因は、中期目標の期間の最後の事業年度の期末処理において運営費交付金債務残高を全額収益に振り替えたことによる利益、国立大学法人会計基準に則り処理した結果発生する資産見返負債の立たない資産の計上及び費用化によるものの差額による利益を計上したことなどが挙げられます。

◆ 経常費用・経常収益の構成内訳



(お問合せ先)

自然科学研究機構 事務局財務課財務係

電話 03-5425-2040 FAX 03-5425-2049